

競技注意事項

1 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

(1) ハードル種目の区分ハードル種目の区分（ハードルの高さ／ハードルの間の距離）は、次のとおりとする。

男子 110m (1.067m/9.14m) 男子ジュニア 110m (U20/U18) (0.991m/9.14m)
女子 100m (0.838m/8.50m)

(2) 投てき種目の区分（重さ）は、次のとおりとする。

砲丸投 男子 一般 (7.260kg) 高校 (6.0kg) 女子 一般・高校 (4.0kg)
円盤投 男子 一般 (2.0kg) 高校 (1.75kg) 女子 (1.0kg)
ハンマー投 男子 一般 (7.260kg) 高校 (6.0kg) 女子 (4.0kg)
やり投 男子 (800g) 女子 (600g)

2 新型コロナウイルス感染症防止対策について、定められた文書等を遵守すること。【別紙】

3 ウォームアップ・練習について

本大会（競技会）の期間に、練習会場使用日程に示す時間帯で、「16 練習について（練習会場注意事項）」にもとづき練習ができる（練習会場の競技役員の指示に従い練習が可能である）。

4 招集について

(1) 招集所は、バックスタンドの北側の裏（掲揚台の北側）に設置する。

(2) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。種目別招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

	種別	招集開始時刻	招集完了時刻	現地集合完了時刻
トラック競技	予選・決勝	25分前	15分前	10分前
フィールド競技	跳躍競技（棒高跳を除く）	50分前	40分前	35分前
	男子 棒高跳	90分前	80分前	75分前
	女子 棒高跳	60分前	50分前	45分前
	投てき競技	50分前	40分前	35分前

(3) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出すること。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとする。

5 アスリートビブス（ビブス）について

(1) アスリートビブス（ビブス）は主催者が2枚配布する。

競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。
跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい（競技規則第143条7）。

(2) 腰ナンバー標識について

- ① トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識（招集所で配布）をショーツまたは下半身の右後方につける。
- ② 4×100mリレー・4×400mリレーでは、最終走者は配布された腰ナンバー標識をつける。
このほか、4×400mリレーの第2・第3走者も腰ナンバー標識をつける。

6 競技場内への入退場について

(1) 競技場内への入退場は、第3ゲート（Gゲート）のみとする。

(2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い、第3ゲート（Gゲート）から退場する。

スタート地点に戻る際、100m・110mH・100mH・3000mSC は雨天走路を歩いてよい。また、200m・3000m以上の種目は第1曲走路及びバックストレートの部分をスタンド壁面に沿って歩いてよい。

7 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

(1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順番による。

(2) トラック競技の決勝の組合せ及びレーン順は、招集所の掲示板に掲示する。

または、プログラム記載のQRコードを読み取って、競技会ウェブサイトでも確認できる。

(3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録があった場合、写真判定員主任が0.001秒の単位の実時間を判定して決定する。（競技規則第167条5）。ただし、レーンが不足する場合は抽選とする。

- (4) トラック競技において決勝に進出する条件は、プログラムの「競技日程」の「組着」の欄に記載のとおり（予選の順位と記録をもとに決定）とする。

8 競技について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定システムによる全自動計時（電気計時）を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 競技規則第 162 条 7, 8 により、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

(2) フィールド競技について

- ① 投てき競技の計測は科学計測装置を使用する。ただし、砲丸投については鋼鉄製巻尺計測とする。
- ② 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカー（走高跳は助走路内に各自の用意したマーカー）を 2 個まで使うことができる。また、サークルから行う投てき競技では、マーカーを 1 個だけ使用することができる。
- ③ 棒高跳の競技者は、支柱の位置をあらかじめ所定の「アップライト申告書」に記入し、招集開始時刻に招集所の競技者係に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。
- ④ 公式練習は、試技順に 2 回行う。
- ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。ただし、投てき種目で、天候や芝生の状況で ND ソフトスタジアム山形での公式練習ができない場合は、競技役員の指示に従うこと。
- ⑥ 三段跳の踏切板は、砂場から男子 12m、女子 9m の地点に設置する。（ただし、天候等の状況により変更することもある）
- ⑦ フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。補助競技場で行われる場合は、競技役員の指示による。
- ⑧ フィールド競技の試技時間は、次のとおりである（競技規則第 180 条 17）。

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4 人以上（各競技者の最初の競技）	1 分	1 分	1 分
2～3 人	1 分 30 秒	2 分	1 分
1 人	3 分	5 分	—
連続試技	2 分	3 分	2 分

(3) リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは、所定の「リレー・オーダー用紙」に記入のうえ、招集完了時刻の 1 時間前までに、競技者係（招集所）に提出すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない（競技規則第 170 条 11）。
 - ② 4×100m リレーの第 2、第 3、第 4 走者は、各自用意したマーカー（1 カ所）を使用することができる。マーカーは各チームで用意し、レース終了後に取り除くこと。
 - ③ 4×100m リレーの全走者間のテイク・オーバー・ゾーンは 30m とし、ゾーンの入口から 20m が基準線となる。
 - ④ 4×400m リレーの第 3・第 4 走者は、審判員の指示に従い、前走者が第 2 曲走路入り口（200m スタート地点）を通過した順序で、内側より並び待機する。
- (4) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD プレイヤー・トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない（競技規則第 144 条 3(b)）。また、競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (5) 競技者は、勝手に競技場所を離れることはできない（競技規則第 180 条 19）。ただし、競技区域外での競技者とコーチとのコミュニケーションを取る（助言を受ける）ために、競技者が競技場所を離れる場合は、必ず競技役員に申し出なければならない（第 144 条 4）。
- (6) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。スタート時のイエローカード（競技規則第 162 条 5）については、その種目限りとする。

(7) 提出書類は次のとおりとする。（用紙は招集所に用意）

提出書類	提出場所	提出時刻
欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2 種目同時出場届	招集所	第 1 種目の招集開始時刻まで
リレー・オーダー用紙	招集所	第 1 組目の招集完了時刻 1 時間前まで
アップライト申告書	招集所	招集開始時刻に

記録証明書交付願	役員・庶務係	各競技終了後随時 (500 円+郵送料を添える)
----------	--------	--------------------------

9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次のとおりとする
(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m65/1m80/1m90	1m70	1m75	1m80	1m85	1 m90	3 c m
	女子	1m35/1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	3 c m
棒高跳	男子	3m30/3m80/4m30/4m60	3m40 から 4m80 まで：10 c mずつ					5 c m
	女子	2m10/2m70/3m00/3m50	2m20 から 3m00 まで：10 c mずつ					5 c m

- (2) 棒高跳の公式練習はゴムバーで行う。
(3) ジャンプオフ (第1位決定戦) におけるバーの上げ下げの幅は、走高跳で2 c m、棒高跳で5 c mとする。

10 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
ただし、投てき物の持ち込みを希望する競技者は、招集開始時刻 30 分前から招集開始時刻までに、招集所の競技者係に申し出る。検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後に大会本部の役員・庶務係で返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。

11 競技用靴について (競技規則第143条2, 3, 4, 5, 6)

スパイクの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクの数は、11本以内とする。

12 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、大型スクリーン (電光掲示板) 及びアナウンスで行う。
正式発表の時刻は、大型スクリーン表示終了時刻とする。
(2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第 146 条に定められている時間内 (30 分以内。ただし、同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内。) に競技者自身または代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を行う。この裁定に対して上訴する場合は預託金 (1 万円) を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

13 表彰について

選手権での各種目の 1 位の競技者には、選手権章 (メダル) と賞状を、2 位・3 位の競技者には賞状を授与する。
ただし、表彰の式典は実施しないので、雨天走路中央付近で表彰係より各自受け取ること。

14 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取扱う。なお、取得した個人情報は、大会の審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。また、新型コロナウイルス感染症の対策上、必要な行政機関との連絡に使用する場合がある。
(2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

15 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したのものについては主催者で処置する。
(2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、総務員 (庶務担当) に連絡する。
(3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
(4) 更衣については、トレーニングルーム (男性)、NDソフトスタジアムの会議室 3・4 (女性) に設ける。
更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
(5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。

- (6) 届けられた遺失物については、役員・庶務係で保管する。保管期間は8月30日(日)の競技会終了までとする。
- (7) 記録はその都度アナウンスで発表するが、結果記録の掲示は行わないので、プログラム記載のQRコードを読み取り、競技会ウェブサイトを確認すること。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、競技役員(役員・庶務係)に500円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出は「競技会における広告および展示物に関する規程」にもとづく。
なお、本競技場では、サイドスタンド及びバックスタンドの最上段での掲出をお願いします。
- (10) 正面スタンド中央部付近でのスタンドから競技者への助言については、大会本部での競技運営の妨げになるので禁止します。

16 NDソフトスタジアム山形のスタンドの使用及び応援について

- (1) メインスタンドへの立ち入り
チーム関係者(コーチ等)、競技役員
- (2) サイドスタンド及びバックスタンドへの立ち入り
〔(1)に加え〕出場競技者、補助員、チーム関係者で事前に申し込んだ方
… (1)(2)ともに、リストバンドを装着した者のみ入場できる。
- (3) 声を出しての応援は禁止する。
- (4) トラック競技においては、競技種目や出場競技者を紹介するアナウンスがあれば、静粛にする。
フィールド競技においては、試技を開始しようとしている競技者がいるときは、静粛にする。

17 練習について(練習会場注意事項) 次ページの記載事項・表も参照のこと

- (1) 練習は、各個人及び監督の責任のもと、ウォームアップ場係の指示により、練習会場使用日程に示す時間帯で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 雨天走路は原則として開放しない(狭い雨天走路での事故防止が目的のため)。
ただし、荒天時のみ、雨天走路をジョグとストレッチに限り開放する場合がある。
- (3) 投てき会場では危険が伴うので十分注意して行うこと。なお、使用する投てき用具は各自持参すること。
- (4) 各練習会場のトラックのレーン内において、次の行為を禁止する。
ミニハードルなどの練習用具をレーン上に置いての練習 / チューブやロープ等でけん引する練習
逆走 / 準備運動、ドリル等の技術練習 / 急に減速したり、立ち止まったりする行為
不用意にレーンを横切る行為
- (5) NDソフトスタジアム山形(主陸上競技場)及びサブグラウンドでの練習は、次のとおりとする。
 - ① <NDソフトスタジアム山形の使用>
ジョグ、流し程度のウォームアップでの使用を認める。
 - ② <サブグラウンドのレーンの使用区分>
競走路の使用は、原則として以下の通りとする。
各レーンとも、第4コーナーからホームストレートの交点付近は危険なので、特に注意すること。
 - ・ 周回1~2レーン: 中・長距離(800m以上の種目)
 - ・ 周回3~4レーン: 短距離(100m~400m)、リレーの種目
 - ・ 5~6レーン(第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路): 400mハードル
 - ・ 4~6レーン(ホームストレート): スターティングブロック設置可
 - ・ 7~9レーン(ホームストレート): 100mハードル・110mハードル
 - ・ ジョギングは、トラック外側の芝生帯で行うこと。※ ただし、当日の競技種目により、レーンの使用区分を変更する場合もある。
- (6) 競技終了後の高校生・中学生の練習は、各学校の顧問の指導及び責任のもとで行うこと。

17 テントの設営について

- (1) テントを設営する際は、地面とテントの支柱をロープと杭等により固定するか、または支柱にバランスよくテントウエイト(重し:土砂などを入れた袋等(10~30kg程度)を支柱にくくりつける等)を取り付けること。
- (2) 風速3m/秒以上になった時、または3m/秒以下でも軽い突風、つむじ風などが発生した時は、アナウンスによる注意及び指示に従って、安全対策の実施状況を点検し、上記の(1)を徹底すること。また、危険と判断される突風、つむじ風などが発生した時は、テントをたたみ、飛ばされないようにすること。

※ 各種目の練習については、安全に十分留意しておこなってください ※

練習会場使用日程 第73回山形県陸上競技選手権大会 兼 2020全国高等学校リモート陸上競技選手権大会

NDソフトスタジアム山形 (主陸上競技場)

	8月29日(土)	8月30日(日)
棒高跳	8:20~9:20(男子)	7:30~9:50(女子)
トラック競技	8:00~9:00	7:30~8:30

※ 競技会第1日・第2日の棒高跳の練習会場は、主陸上競技場とする。
(競技会第1日・第2日に、サブグラウンドに棒高跳用のマット・支柱等を設置しないため)

サブグラウンド

	8月29日(土)	8月30日(日)
	8:30~17:00	8:00~15:00

※走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の練習は、サブグラウンドで行うこともできる。

※投てき競技については、「投てき競技練習会場及び日程」を参照のこと。

投てき競技練習会場及び日程

□の囲みは、その種目で練習会場を占有して使用することを示す

	8月29日(土)		8月30日(日)	
	サブグラウンド	投てき練習場(運動広場)	サブグラウンド	
7:00			砲丸投	やり投
:30				
8:00		8:00	8:00	8:00
:30		男子 円盤投	女子 砲丸投	男子 やり投
9:00		9:00	9:30	9:30
:30		女子 円盤投	9:30	
10:00	円盤投	10:30	男子 砲丸投	
:30	競技	10:30	12:30	
11:00		男子 ハンマー投		11:30
:30		12:30		女子 やり投
12:00				12:30
:30		12:30		
13:00	ハンマー投	女子 ハンマー投	12:30より後は 使用不可	
:30		14:00		
14:00	競技			
:30		14:00より 後は 使用不可		
15:00				
:30				
16:00				
:30				
17:00				

別紙

新型コロナウイルス感染拡大防止に関して参加者をお願いする事項

(1) 競技会当日に以下の体調等に関する確認書類（体調管理報告書）を提出すること。

- ① 連絡先（感染者が発生した場合に必要）
 - ② 当日の体温及び過去1週間の体調（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ③ 過去14日以内に同居家族や身近な知人に感染が疑われる者の有無
 - ④ 過去14日以内に入国制限の国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無
- 以上の②から④の事項に該当する場合は参加できません。

(2) 競技会全体での感染防止策

- ① マスクを着用すること。
※運動中（任意）、周囲に人がいない場合及び熱中症防止等やむを得ない場合を除き、マスクの着用を徹底する。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③ 密閉、密接、密集の三密を避け、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ④ 競技会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑤ 感染防止のために主催者が定めた処置を守り、指示に従うこと。
- ⑥ 競技会終了2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者に速やかに報告すること。
(連絡先：山形陸上競技協会事務局 TEL：023-657-3070 FAX：023-665-5579)
- ⑦ 競技会前後のミーティング等を簡潔にし、その際においても三密を避けること。

(3) 競技中やウォーミングアップ時

- ① 汗拭きタオル等の共用はしないこと。
- ② 水やスポーツドリンク等の回し飲みをしないこと。
- ③ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。
- ④ ウォーミングアップは個別に行い、参加者以外付き添いなどの立ち入りを禁ずる。
- ⑤ 競技中やウォーミングアップ時において、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- ⑥ 競技の待機場所等では会話を控えること。
- ⑦ 競技（レース、試技）の前後に石鹸で手洗い又は手指消毒をすること。

(4) スタンド等での観戦・応援（競技会参加者、事前に申し込んだチーム関係者等）

- ① 観客や応援者同士が密な状態とならないよう、観客席等の間隔を十分空けて座ること。
- ② 大声での声援を送らず、また会話を控えるよう心掛けること。
- ③ 会話をする場合にはマスクを着用すること。